発刊日　令和５年 11 月 10 日

奈良体育学会会報

第 93 号　　発行　奈 良 体 育 学 会
事務局： 奈良女子大学 生活環境学部 石坂友司研究室（〒630-8506　奈良市北魚屋西町）
https://nspehss.org/　　narajimukyoku@nspehss.org

ご挨拶：奈良体育学会大会開催にあたって

奈良体育学会 会員の皆様へ

奈良体育学会会長 松井 良明（奈良工業高等専門学校）

紅葉の候、会員の皆様には、ますますご健勝のことと拝察申し上げます。
コロナ禍もようやく収まりつつあり、今秋は多くの学校や地域で、運動会や体育祭等が再開されているようです。多くの方々がスポーツや運動を楽しむ機会を取り戻していかれることはまことに喜ばしい限りです。

さて、会員の皆様におかれましては、日頃より奈良体育学会の活動にご理解並びにご協力を賜り、まことにありがとうございます。本学会では、前年度に引き続き、対面方式での学会大会の開催を計画しています。今年度は、11 月 25 日（土）に奈良女子大学にて学会大会を実施する予定です。
今回も、一般発表に加え、昨年度のテーマを引き継ぐ形でのシンポジウムを企画しています。今年度のシンポジウムでは、井上邦子先生（奈良教育大学）、田里千代先生（天理大学）、星野聡子先生（奈良女子大学）にご登壇いただき、「奈良のスポーツ遺産について考える Part 2」と題して議論を行いたいと思います。昨年度に引き続き、「奈良のスポーツ遺産」とその広がりや今後の保存活動、また活用方法等について、学会としての共通理解を広げるのが主眼です。

なお、今年度の大会終了後には、演者及び会員の交流を兼ねて懇親会を再開したいと考えています。情報交換と親睦を深める貴重な機会ですので、多くの会員の皆様のご出席をお願いしたいと存じます。
以上、簡単ではございますが、学会大会開催に向けての会長挨拶とさせていただきます。皆様と会場でお会いできるのを楽しみにしております。

令和５年度奈良体育学会大会のお知らせ

期　日：　令和 5 年 11 月 25 日(土)

会　場：　奈良女子大学 N 棟 302 教室（奈良県奈良市北魚屋西町）

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
お車での奈良女子大学への入構は禁止とさせていただきます。

共　催：　奈良女子大学(健康なら 21Step アップ事業)

＜ご参加いただく方へ＞
参加費：会員　：無料
会員外：一般 1,000 円、大学院生等 500 円、学部生 無料

事前参加申込期限:令和 5 年 11 月 17 日（金）17:00　**※当日参加も受け付けます。**

☞ 学会大会事前申込ページ　https://nspehss.org/taikai/taikaiform
☞ 令和 5 年度奈良体育学会大会専用メールアドレス(事務局お問い合わせ用)
nara-taikai@nspehss.org
☞ 郵便振替・口座番号：　(当座)　０１０００－２－２８１６９　＜加入者名：奈良体育学会＞

※事前登録参加、当日参加にかかわらず、必ず正門を通過し、入校時受付(守衛室前)、及び参加受付(N 棟 302 教室入口)をお済ませのうえ、会場へお入りください。

大会プログラム

12:00～	受付（**N 棟 302 教室入口**）
12:30～13:00	令和 5 年度奈良体育学会総会
13:00～14:30	一般発表
14:40～16:40	シンポジウム（一部公開）
17:00～18:00	懇親会

学会大会事前申込ページ
QR コード

＜発表者の方へ＞
・発表形式はすべて口頭発表とします。会場の PC(Windows のみ)をご使用の方は、USB メモリ等でデータを持参していただき、出来る限り一般発表開始前にファイルを PC にコピーし、ご自身で動作確認を行ってください。コピーされたデータは学会大会終了後に直ちに消去します。ご持参の PC をお使いになる方は、HDMI 経由での映写となります。Macintosh をご使用の場合は、PC をご持参ください。
・動画等を使用される方は、必ずご持参の PC にてご発表ください。なお、ご自身・会場の PC に限らず動画やアニメーションについての動作・映写等の保証は致しかねます。動画・アニメーションをお使いになる方は、正しく再生されなかった場合の対応をご準備ください。
・発表原稿をご使用される方は、念のためプリントアウトしたものをご持参ください(「発表者ツール」使用不可の場合のご対応です)。
・演題数が多くなりましたので、通例通りの時間に戻して以下のように設定いたします。
発表時間は 10 分、討論時間は 3 分です。円滑な進行のため、発表時間は厳守してください。
・発表開始後 9 分に 1 鈴、10 分(発表時間終了時)に 2 鈴、討論時間終了時に 3 鈴の合図をします。

・奈良体育学会研究年報掲載用抄録の提出をお願い致します【必須】。
令和 6 年 1 月 26 日(金) 17 時〆切です。
奈良体育学会研究年報用抄録フォーマット：　https://nspehss.org/kenkyu-nenpo

＜一般発表＞ 13:00～14:30 （発表時間 10 分、討論時間 3 分）

座長 石坂友司（奈良女子大学） 13:00～

演題 1（13:00～13:13）

学校体育における「スポーツ参加の多様化」の理論的視座に関する研究

○澤田悠（奈良教育大学教職大学院）

キーワード：多様な関わり方、理論的背景、学校体育

要旨：学習指導要領において新たに記載された「する・みる・支える・知る」といったスポーツ参加の多様化の動向が、どのような理論的背景を基に取り上げられるようになったのかについて考察を行った。

演題 2（13:15～13:28）

在日韓国人学校における民族スポーツと教育に関する考察 ー課外活動での取り組みからー

○玉川佳奈妥（天理大学大学院）

キーワード：民族スポーツ、外国人学校、部活動

要旨：本研究は、在日韓国人学校を調査対象として、民族スポーツと教育の関わりについて考察したものである。中でも、民族スポーツを活用した課外活動のあり様についてみていく。

演題 3（13:30～13:43）

小学校体育におけるゴール型授業の教材と指導技術に関する事例研究
ー小学校高学年サッカー授業への介入授業を通してー

○氣田奎一（天理大学大学院体育学研究科）

キーワード：小学校体育授業、サッカー、指導技術

要旨：本研究では、サッカーの専門的な経験を持たない教員による授業を通して、年齢や経験を問わずに学習成果に結びつく教材と指導技術について、授業者・学習者・専門家の 3 つの視点から授業を構造的に捉え明らかにすることを目的とした。

座長 中田大貴（奈良女子大学） 13:45～

演題 1（13:45～13:58）

リリースタイミングの制約時における投動作の調節

○杉浦晴佳（奈良女子大学大学院）、高徳希、藤原素子（奈良女子大学）

キーワード：投動作、タイミング一致、時間的制約

要旨：球技におけるパス動作では相手選手の有無などの外的要因により動作開始のタイミングが制約を受けることが多い。本研究では定速で移動する視標への投球課題にリリースタイミングの制約を設け、投動作の調節について検討した。

演題 2（14:00～14:13）

モーションキャプチャを用いた体幹側屈動作時における脊椎曲率の評価

○金子竜大（天理大学体育学部）、来田宣幸、権野めぐみ、野村照夫（京都工芸繊維大学）、中谷敏昭（天理大学体育学部）

キーワード：身体側屈動作、三次元動作解析

要旨：本研究は、自動的な体幹部の側屈可動域の新たなテスト法の考案を目的とし、評価する上での留意点を明らかにし、さらに側屈動作時の各セグメントの曲率に着目した。

演題 3（14:15～14:28）

高齢者の転倒自己効力感に関わる身体的・心理的要因

○荒内来美（奈良女子大学大学院）、星野聡子（奈良女子大学）

キーワード：地域在住高齢者、Quality of life、転倒自己効力感

要旨：転倒は高齢者の Well-being な生活を一変させる危険性をもつ。そこで、高齢者の転倒しない自己効力感が日常生活にどのように反映され、転倒を未然に予測できるのかについて検討するため、地域在住高齢者を対象に体力テストと QOL 調査を行った。その結果、男性では重心動揺の外周面積、女性では 5m 通常歩行、また QOL 評価では男女ともに身体的 QOL および社会的 QOL が、転倒しない自己効力感の予測変数となることが明らかとなった。

＜シンポジウム＞　14:40～16:40

テーマ：奈良のスポーツ遺産について考える Part 2

趣　旨：

長い歴史を持つ「奈良のスポーツ遺産」とはどのようなものなのでしょうか。昨年度の学会大会では、このテーマを考える上で重要と考えられる県内３つの諸機関（天理大学附属天理参考館、奈良県立万葉文化館、葛城市相撲館「けはや座」）の関係者をお招きし、それぞれの機関が所蔵しておられる「地元奈良」に関わる「スポーツ遺産」に着目し、その広がりや学術的な意義等を探りました。

いうまでもなく、本学会は日本体育・スポーツ・健康学会の地域協力学会でもあり、多くの会員が「奈良」にゆかりのある研究者や教育者です。「奈良のスポーツ遺産」の具体的な内容を学術情報として共有することは、本シンポジウムの共催となる奈良女子大学「地域連携事業・健康なら 21Step アップ事業」にとっても有意義なテーマと考えました。

今年度のシンポジウムでは、昨年度のテーマを継承し、「奈良のスポーツ遺産について考える Part 2」と題してさらに議論を拡げたいと考えています。

今年度のテーマを考える際に話題となったのは、昨年度のシンポジウムで取り上げた内容がどちらかといえば「有形の遺産」にフォーカスしたものだったのではないかという点でした。いうまでもなく、「遺産」には「無形」のものも含まれますし、とくに本学会の特徴ともいえる体育・スポーツ・運動等はいわゆる「無形の遺産」と深く関わっています。また、昨年度の議論も踏まえますと、そういった「遺産」をどう活用するかという点も重要であることに気づかされました。

そこで、今回のシンポジウムでは、「奈良のスポーツ遺産」が「教育」、「研究」、「暮らし」の中でどのように活かされているのかという点に着目したいと思います。キーワードは「無形の遺産」とその「活用」になるかと思います。なお、シンポジストはいずれも地元の３つの大学で教鞭をとっておられる先生方で、ご自身がこれまで直接関わってこられた個別テーマから、表題とキーワードに関わる話題提供をお願いしています。

シンポジスト：

井上　邦子（奈良教育大学）：奈良の民俗スポーツ：スモウ神事を事例として

田里　千代（天理大学）　　：スポーツ遺産をいかに研究するか

星野　聡子（奈良女子大学）：奈良女子大学での武道教育

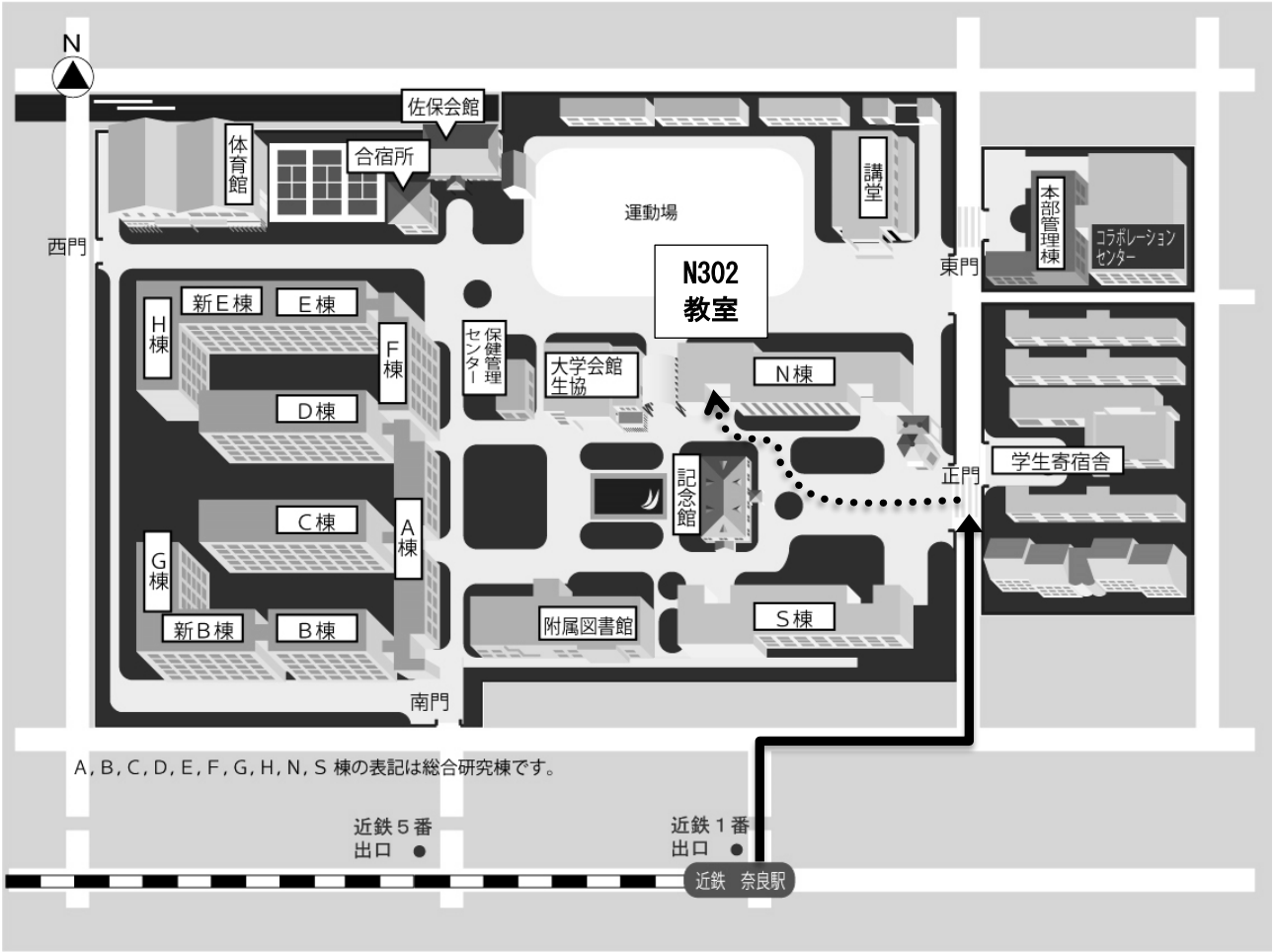
コーディネーター：

松井 良明（奈良工業高等専門学校）　　以上敬称略

＜懇親会＞　17:00～18:00

奈良女子大学へのアクセス

近鉄奈良駅（1 番出口）からマップ内の実線（―）で示した経路を進み、徒歩 5 分です。
正門からお入りください。大学構内マップ内の点線（…）で示した経路を進み、N 棟の入口（西側）から入って 3 階にお上がりください。



奈良体育学会事務局よりお知らせ

【重　要】メールアドレスご登録のお願い

今後、学会からのお知らせは、原則として電子メールによる配信とさせていただく予定です。これまでに数回メールをお送りしていますが、いずれも届いていない方につきましては、別途、学会 HP から、または直接、学会事務局(narajimukyoku@nspehss.org)まで、必ずメールアドレス登録のご連絡をお願いいたします。

【研究年報への原稿投稿のご依頼】

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。**学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。なお、筆頭著者は奈良体育学会会員資格を持つ者に限ります。**研究年報は学会ホームページにおける電子データでの提供とし、配布を行わないこととさせていただいています。今年度より電子ジャーナルとしてオープン公開を行い、国会図書館に ISSN を登録します。このことに関連して、学会活動（会報等）は掲載せず、会報のみでの提供に変更いたします。会員の皆様にはホームページからダウンロードしていただくようお願い致します。

締切：　令和 6 年 1 月 26 日(金) 17 時
提出先： 電子メール(添付ファイル)による。
奈良体育学会事務局 奈良女子大学 石坂友司宛（**E-mail: narajimukyoku@nspehss.org**）

＜誌上発表論文書式＞

＊A4 用紙、40 字×40 行、一段組、図表ともで 4～6 枚、上下左右の余白を 20mm としてください。（詳細は過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。）

＊原稿は Word とそれを PDF 形式で保存した 2 種類のファイル(Word と PDF)にてご提出ください。原稿は、モノクロでご作成ください。また、原則として PDF ファイルに表示されている内容がそのまま年報に掲載されますので、ご提出の前に必ず体裁等をご確認ください。カラー表示が必要な方につきましては、PDF 版においてはカラーでの掲載が可能ですが、国立国会図書館等に収蔵する冊子版については原則としてグレースケールでの掲載となりますので、ご承知おきください。論文等は、奈良体育学会研究年報投稿規定ならびに体育学研究(日本体育・スポーツ・健康学会)投稿規定・投稿の手引きに準じてご作成ください。学生・大学院生の方は、必ず指導担当教員等の指導を受けてから投稿して下さい。

＜発表抄録書式(今年度の大会発表者用)＞

用紙 A4 で 1 枚（図表込み)、本文は 2 段組でお願いします。文字フォントは、タイトル 14 ポイント、氏名・所属 11 ポイント、本文は 9 ポイントで記載をお願いします。また、キーワード（9 ポイント）を所属と本文の間に 3 語で入れてください。なお、原稿作成見本および詳細は下記の URL にあります。その他の原稿の様式、提出方法、提出ファイルの種類等は＜誌上発表論文書式＞と同様です。

奈良体育学会研究年報用抄録フォーマット： https://nspehss.org/kenkyu-nenpo

日本体育・スポーツ・健康学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

令和 5 年度の年度会費をお納め下さい。年会費は 1,500 円です。なお、**2 年続けて年会費を納入しない正会員は退会扱い**とさせて頂きます。

【年会費振込先】郵便振替・口座番号：（当座）01000－2－28169 ＜加入者名：奈良体育学会＞